利己的なり、餘りに非社會的なり、されど、正道を踏んで不義に與する能はざる吾等勞働者は、然かく冷淡に此の眼前の罪惡事實を看過する能はざるなり。

吾等は司法權の嚴正を疑ふを好まず、而も呑舟の魚は往々にして逸し去る、諺にいふ「腫物は他人に押させよ」と、此の場合、その他人とは誰ぞや、正道に立ちて何物をも恐れず、何物にも累せられず、何物にも囚はれず、義の爲には身命を賭しても顧みざる吾等勞働者のみ、所謂、腫物に對しての他人たるべき資格を有す、吾等が一切眼前の事象を批判せんとする態度は明白に此處に存す。

今、東京市は、市長なくして市參事會員なくして全く自治體としての面目を失へり、市民は一日も早く善良なる市長の顯はれんことを切望せり、而も今日のまゝにては市會議員の階級選擧すら廢せられず、況んや市長公選のレフレンダムをや、されば今日のまゝの制度組織を以てしては、百度市長を取換ふるも、如何なる新人物の出顯せんも、市政其のものは決して決して革新せられざるべし、何となれば、腐敗はその人によりて或は來り或は來らざるにあらず、主として制度組織にこれ因るを以てなり。然り、現在の制度は、階級的、資本主義的、官僚的、特權的、秘密主義的にして、利權の情實的交換が一切を腐爛せしむるの制度なり。一たび此の制度の溶爐に入り來らば如何なる人物も軟化し溶化し去られざるなし、眞に全市民の福祉と安寧とを將來せんとならば、その階級的資本主義的制度、言ひ換ふれば、腐敗政策を施き得べき一切の制度を根本的に廢止し、その廢墟に正義と自由の完全に行はるべき新制度を樹立せざるべからず。

吾等は言はんとす、全勞働階級の名に於て言はんとす、吾等は第一には我等自らの社會的正義を要求し、第二には全人類の爲に社會的正義を要求す。而して現前の不正事件に對しては「見よ！何事だ！汝達のその態たらくは？」の一句を以てせんのみ。

覺めよ、民衆！ 覺めよ、覺めよ、團結せよ、勞働者！ 力の爲に團結せよ！

大正九年十二月

勞働組合同盟會

紡織勞働組合、東京電氣及機械鐵工組合、汎勞會、工人會、啓明會、日本交通勞働組合、工友會、正進會、日本印刷工組合信友會、東京鐵工組合、大進會、友愛會、日本鑛夫總同盟、

日本印刷工組合信友會常務委員

會計 花澤雄一郎
同 野村孝太郎
庶務 高崎岩吉
同 小野福太郎
同 桑原錬太郎
外務 入澤吉次郎
同 水沼辰夫
編輯 林勇三雄
同 平野重吉
同 日吉春郎
文撰幹事長 科
同 入澤吉次郎
副幹事長 科
幹事長 水沼辰夫
和文幹事長 石田九藏
副幹事長 科
幹事 金子清一郎
副幹事長 岡澤卯三郎

勞働組合同盟會
信友會選出代議員

理事 野村孝太郎
代議員 水沼辰夫
同 厚田正二

常任理事
野村孝太郎（信友會）
松岡駒吉（友愛會）會計
武井榮（交通勞働）

加盟團體
汎勞會
啓明會
工友會
正進會
大進會
友愛會
東京電氣及機械鐵工組合
紡織勞働組合
工人會
日本交通勞働組合
信友會
東京鐵工組合
日本鑛夫總同盟

10.9.30

來れ!! 兄弟!!

勞働問題講演會

曰く『友愛會の右傾』！ 曰く『組合主義の新舊對立』！ 曰く『知識的指導者排斥』！ 曰く『團體交渉權』！ 曰く『工場委員制度問題』！ 曰く『勞働代表問題』！ 曰く『勞働規約批難問題』！

昨今勞働問題に關する論議は眞に多端である！是等の諸問題に對して體驗に本づく吾等勞働者の意見の發表！これが本講演會の趣旨だ。

出演者 都下各勞働團體の鬪士數十名

日時　大正十年七月十二日午後七時

場所　神田區一ツ橋通帝國教育會階上

主催　**勞働組合同盟會**